

研究協力のお願について

本学では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、金沢大学医学倫理審査委員会の審査を受け、附属病院長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2021 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日までに当院に入院した方で、入院後に尿中レジオネラ抗原が陽性となった方で介助浴室を使用された方

2. 研究の目的について

研究課題名：病院内におけるレジオネラ菌汚染の系統的な把握とその対策

この研究では上記の対象患者さんの中で、カルテに残っているデータを元に、入院後の経過や各種検査結果を確認し、当院の環境（病室、浴室、給湯・給水管）におけるレジオネラ対策を行うことを目的としています。

3. 研究の方法について

レジオネラ症は、死亡率の高い重症の呼吸器感染症として知られており、時に汚染された水道水による病院での集団感染の報告があります。

今回、当院の病室や浴室および水・湯の配管におけるレジオネラ属菌の有無や水温、塩素濃度を確認し、給水・給湯システムがレジオネラ菌の汚染源となりうるかを検討し、感染拡大を防止することを目的としています。集めたデータは学会や論文などに発表される事はありますが、個人情報公開されることはありません。この研究期間は、2022年8月（金沢大学医学倫理委員会の承認日）から2027年3月までです。研究への不参加を希望される場合は2022年8月15日までに下記研究窓口までお知らせください。

4. 研究期間

2022年7月（金沢大学医学倫理審査委員会の承認日）～2023年3月31日

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、基礎疾患、入院期間、検査結果（血算、生化学、レジオネラ抗原、各種培養）

6. 外部への試料・情報の提供・公表

この研究において外部への資料・情報の提供・公表はありません。

7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。予測される不利益として個人情報の流出の可能性は0ではありませんが、そういうこ

とがないようにデータの取り扱いについては、外部に漏れることが無いよう細心の注意を払います。

8. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された検体や診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますが、あなたの個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

9. 研究組織

金沢大学附属病院	附属病院	感染制御部	副部長/薬剤部	薬剤主任	中出順也
	附属病院	感染制御部	部長/腎臓内科	特任教授	岩田恭宜
	附属病院	感染制御部/血液内科	特任助教	材木義隆	
	附属病院	感染制御部/リウマチ・膠原病内科	特任助教	高橋芳徳	

10. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

本研究の研究担当者は「金沢大学臨床研究利益相反マネジメントポリシー」に従い、臨床研究利益相反マネジメント委員会に必要事項を申告し、審査と承認を得ています。

11. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2022年8月15日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

12. 研究に関する窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究機関の名称：金沢大学附属病院 感染制御部

研究責任者：中出 順也（金沢大学附属病院 感染制御部）

問合せ窓口：中出 順也（金沢大学附属病院 感染制御部）

住所：金沢市宝町13-1

電話：076-265-2000